



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月14日

上場会社名 伊豆シャボテンリゾート株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6819 URL <http://www.izu-sr.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)北本 幸寛
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画室室長 (氏名)桑原 亮介 (TEL)03(5464)2380
 定時株主総会開催予定日 2019年6月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	3,101	△0.5	401	△7.1	413	△11.3	385	△14.6
2018年3月期	3,117	5.2	432	5.7	466	4.9	451	△5.6
(注) 包括利益	2019年3月期 382百万円 (△15.2%)		2018年3月期 451百万円 (△6.1%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	13.54	—	19.8	16.6	12.9
2018年3月期	15.87	—	29.6	21.1	13.9

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	2,655	2,137	80.5	75.09
2018年3月期	2,322	1,755	75.6	61.64

(参考) 自己資本 2019年3月期 2,137百万円 2018年3月期 1,755百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	591	△569	△4	410
2018年3月期	519	△710	△2	392

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2018年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00	0	—	—
2019年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00	0	—	—
2020年3月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00	—	—	—

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,700	5.7	260	15.0	260	11.9	250	12.8	8.78
通期	3,300	6.4	450	12.1	460	11.2	410	6.3	14.40

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	28,496,537株	2018年3月期	28,496,537株
② 期末自己株式数	2019年3月期	23,223株	2018年3月期	22,833株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	28,473,509株	2018年3月期	28,474,620株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	182	7.7	6	4.6	△37	—	10	△25.3
2018年3月期	169	1.9	6	△51.9	△20	—	14	△46.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	0.38	—
2018年3月期	0.50	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2019年3月期	608		559		92.0		19.65	
2018年3月期	574		551		96.1		19.37	

(参考) 自己資本 2019年3月期 559百万円 2018年3月期 551百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用状況の改善が続き、個人消費も持ち直しの動きが継続しており、緩やかな景気回復が続きました。その一方で台風などによる自然災害や記録的な猛暑、また労働環境の変化による人件費の上昇など、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中で、当社が展開するレジャー事業では、経営理念である「ステークホルダーと共に」及びブランドスローガンである「ご来園者の笑顔のために」の元に、長きにわたって愛される施設作りを目指すべく継続して新たなアトラクションの設営など、ご来園者様の満足感を高める諸策を次々に打ち出しております。

当連結会計年度の業績は、売上高3,101百万円（前期比0.5%減）、営業利益401百万円（前期比7.1%減）、経常利益413百万円（前期比11.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益385百万円（前期比14.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて82百万円増加し、676百万円となりました。これは主として、現金及び預金が43百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて250百万円増加し、1,979百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が332百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて332百万円増加し、2,655百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2百万円増加し、305百万円となりました。これは主として、未払法人税等が19百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて53百万円減少し、212百万円となりました。これは主として、偶発損失引当金が89百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて50百万円減少し、517百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて382百万円増加し、2,137百万円となりました。これは主として、当期純利益の計上等により利益剰余金が385百万円増加したこと等によります。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べて13円45銭増加し、75円9銭となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末の75.6%から80.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて18百万円増加し、410百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は、前連結会計年度より72百万円増加し、591百万円（前連結会計年度は519百万円の資金獲得）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益448百万円の獲得によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は、前連結会計年度より141百万円減少し、569百万円（前連結会計年度は710百万円の資金使用）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出496百万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は、前連結会計年度より1百万円増加し、4百万円（前連結会計年度は2百万円の資金使用）となりました。

(4) 今後の見通し

当社グループは、各公園の更なる収益力の強化、各公園における安全・安心確保や、コンプライアンスの徹底など一層の内部管理体制の充実を図ってまいります。

今年3月に、伊豆シャボテン動物公園の開園60周年記念として「レッサーパンダ館」をオープンいたしました。また、伊豆高原グランイルミが内閣府主催の「第3回クールジャパン・マッチングアワード」審査員特別賞を受賞しております。新施設のオープンや、伊豆高原グランイルミの一層の認知度向上など引き続き行うことによって、ステークホルダーの皆様の満足度を向上させるべく継続的な改革・改善に取り組めます。

当社グループでは、「当社施設訪問を目的とした人々が“日本中から伊豆に集まって下さる”」状況作りを目指し、引き続き各公園施設の全般的な魅力向上（魅力的な運営施設の新設、イベントの拡充、物販の拡充、接客などサービスレベルの向上、効果的な宣伝広告）を重点施策として実施してまいります。

次期（2020年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高3,300百万円、営業利益450百万円、経常利益460百万円、親会社株主に帰属する当期純利益410百万円を見込んでおります。

上記における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があるほか、予想自体についても今後変更となる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	508,707	551,976
売掛金	45,495	59,582
未収入金	44	1,484
商品等	20,944	32,815
その他	18,743	30,286
流動資産合計	593,935	676,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,602,195	2,033,647
減価償却累計額	△485,443	△584,126
建物及び構築物 (純額)	1,116,752	1,449,521
機械及び装置	231,369	266,619
減価償却累計額	△100,580	△145,701
機械及び装置 (純額)	130,789	120,918
土地	88,132	23,364
建設仮勘定	141,975	116,791
その他	315,146	349,446
減価償却累計額	△220,831	△255,349
その他 (純額)	94,314	94,096
有形固定資産合計	1,571,964	1,804,692
無形固定資産		
ソフトウェア	3,522	602
その他	702	-
無形固定資産合計	4,224	602
投資その他の資産		
投資有価証券	10,873	8,198
長期化営業債権	12,156	12,156
破産更生債権等	3,399	754
繰延税金資産	113,250	89,180
その他	28,715	76,565
貸倒引当金	△15,556	△12,911
投資その他の資産合計	152,839	173,944
固定資産合計	1,729,028	1,979,239
資産合計	2,322,964	2,655,385

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,212	38,476
未払金	199,406	157,171
前受金	84	27
預り金	11,959	8,864
未払法人税等	5,039	24,408
賞与引当金	20,413	21,599
その他	25,066	54,609
流動負債合計	302,181	305,156
固定負債		
退職給付に係る負債	145,524	150,110
偶発損失引当金	89,063	-
その他	31,153	62,141
固定負債合計	265,741	212,251
負債合計	567,923	517,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	425,423	425,423
利益剰余金	1,244,783	1,630,446
自己株式	△12,097	△12,150
株主資本合計	1,758,110	2,143,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,068	△5,743
その他の包括利益累計額合計	△3,068	△5,743
純資産合計	1,755,041	2,137,976
負債純資産合計	2,322,964	2,655,385

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	3,117,281	3,101,616
売上原価	1,081,483	1,019,449
売上総利益	2,035,797	2,082,166
販売費及び一般管理費	1,603,472	1,680,597
営業利益	432,324	401,569
営業外収益		
受取利息	170	40
受取手数料	1,353	2,034
受取賃貸料	1,484	1,573
償却債権取立益	3,941	2,961
保険解約返戻金	18,335	-
その他	11,812	6,837
営業外収益合計	37,097	13,448
営業外費用		
支払利息	96	567
貸倒引当金繰入額	2,645	44
その他	125	751
営業外費用合計	2,867	1,364
経常利益	466,555	413,653
特別利益		
固定資産売却益	462	2,261
受取保険金	6,076	33,226
特別利益合計	6,539	35,488
特別損失		
固定資産売却損	694	-
固定資産除却損	1,089	0
減損損失	570	-
ゴルフ会員権評価損	-	170
特別損失合計	2,353	170
税金等調整前当期純利益	470,740	448,971
法人税、住民税及び事業税	30,685	39,239
法人税等調整額	△11,791	24,069
法人税等合計	18,893	63,308
当期純利益	451,847	385,663
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	451,847	385,663

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	451,847	385,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△2,675
その他の包括利益合計	△26	△2,675
包括利益	451,820	382,987
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	451,820	382,987
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	425,462	792,936	△11,886	1,306,512
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			451,847		451,847
自己株式の取得				△260	△260
自己株式の処分		△38		49	10
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△38	451,847	△210	451,597
当期末残高	100,000	425,423	1,244,783	△12,097	1,758,110

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△3,041	△3,041	1,303,470
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			451,847
自己株式の取得			△260
自己株式の処分			10
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△26	△26	△26
当期変動額合計	△26	△26	451,570
当期末残高	△3,068	△3,068	1,755,041

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	425,423	1,244,783	△12,097	1,758,110
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			385,663		385,663
自己株式の取得				△52	△52
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	385,663	△52	385,610
当期末残高	100,000	425,423	1,630,446	△12,150	2,143,720

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△3,068	△3,068	1,755,041
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			385,663
自己株式の取得			△52
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,675	△2,675	△2,675
当期変動額合計	△2,675	△2,675	382,934
当期末残高	△5,743	△5,743	2,137,976

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	470,740	448,971
減価償却費	163,680	184,175
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,645	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13,751	4,585
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,144	1,186
受取利息及び受取配当金	△170	△40
支払利息	96	567
為替差損益 (△は益)	△34	27
減損損失	570	-
償却債権取立益	△3,941	△2,961
固定資産売却損益 (△は益)	231	△2,261
固定資産除却損	1,089	-
売上債権の増減額 (△は増加)	15,504	△13,153
商品等の増減額 (△は増加)	△2,018	△11,871
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,645	△1,587
前渡金の増減額 (△は増加)	3,814	△3,938
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	6,413	△16,904
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△50,480	43,118
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△6,682	△19,777
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△3,150	△505
受取保険金	△6,076	△33,226
その他	△17,255	2,427
小計	579,225	578,831
利息及び配当金の受取額	170	40
利息の支払額	△96	△561
法人税等の支払額	△66,774	△19,872
法人税等の還付額	403	1
保険金の受取額	6,076	33,226
営業活動によるキャッシュ・フロー	519,005	591,666

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△142,502	△88,008
定期預金の払戻による収入	37,000	63,006
有形固定資産の取得による支出	△641,833	△496,958
貸付金の回収による収入	2,200	-
その他	34,562	△47,401
投資活動によるキャッシュ・フロー	△710,573	△569,362
財務活動によるキャッシュ・フロー		
その他の支出	△2,818	△4,009
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,818	△4,009
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	△27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△194,352	18,267
現金及び現金同等物の期首残高	586,557	392,205
現金及び現金同等物の期末残高	392,205	410,472

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、レジャー事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一のサービスの区分の外部顧客への売上高が連結計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一のサービスの区分の外部顧客への売上高が連結計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

当社グループの事業セグメントは、レジャー事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社グループの事業セグメントは、レジャー事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	61.64円	75.09円
1株当たり当期純利益	15.87円	13.54円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	451,847	385,663
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	451,847	385,663
普通株式の期中平均株式数(株)	28,474,620	28,473,509

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,755,041	2,137,976
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,755,041	2,137,976
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	28,473,704	28,473,314

(重要な後発事象)

該当事項はありません。